

Precisely Data Integrity Suite for Data Mesh

Precisely Data Integrity Suite を使用して
データメッシュアーキテクチャの構築を始めましょう

概要

データメッシュとは、各専門部署が、ユーザー向けの信頼できるデータを自身で作成・整理・維持できるようにするための最新の分散型(または連合型)アーキテクチャアプローチです。これにより、組織全体がより信頼性が高く、データに基づく意思決定をタイムリーに行えるようになります。

データメッシュは単一のソリューションやアプリケーションではなく、データ管理コンポーネントの組み合わせです。データメッシュに必要なものとしては、すべての重要なデータへの各専門部署のセルフサービスアクセス、分散型のデータガバナンス、承認されたデータを発見して理解し、そのデータにアクセスするためのユーザーフレンドリーなインターフェースなどが挙げられます。

データメッシュの分散型アーキテクチャでは、部署レベルの要件に適応できる柔軟性を備えつつ、プライバシー、セキュリティ、データポリシーのコンプライアンスを確保するために、分散型のデータガバナンスが重要な優先事項となります。

データメッシュのデータ完全性:最新のデータ管理アーキテクチャの準備

データメッシュアーキテクチャではデータ管理ソリューションを組み合わせる必要がありますが、主要な要件に優先順位を付けることによってデータメッシュの準備を開始できます。

- **部署自身によるオーナーシップ:** 部署の各担当者が自身でデータの作成、整理、管理を行えるようにする。
- **専門データへのアクセス:** 各専門部署がすべての重要なデータにセルフサービスでアクセスできるようにする。
- **ガバナンスの分散化:** セキュリティ、プライバシー、コンプライアンスを部署レベルで監視する。
- **データの発見:** オンデマンドで信頼できるデータを発見して理解し、そのデータにアクセスできるようにする。



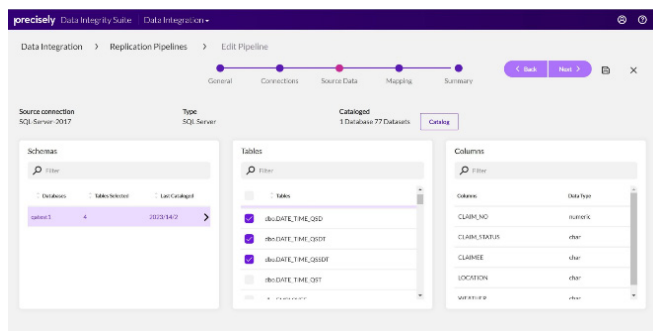
利点

データメッシュの利点:

- データの提供がより迅速になり、ビジネス上の意思決定をよりタイムリーで信頼性の高い方法で行うことができる。
- 信頼できるデータの発見と理解を促進し、データに基づく意思決定をよりタイムリーに行うことができる。
- 一貫性のあるデータをタイムリーに提供する任務を負っている各専門部署の効率が向上する。
- データポリシーの可視性と監視をドメインレベルで確保し、自律性を実現しながらリスクとコンプライアンス違反を減らすことができる。
- データリテラシーを高め、データに基づくより包括的で信頼できる意思決定を促進できる。

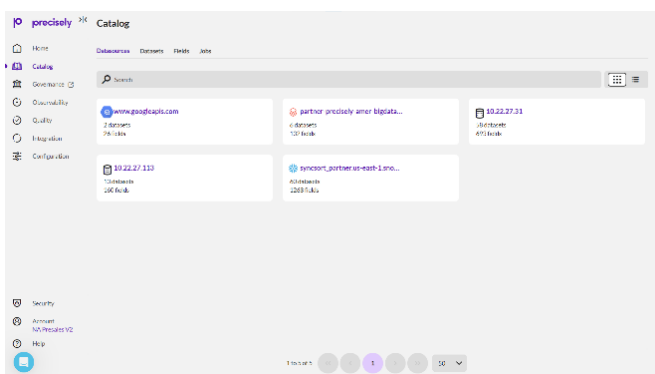
Precisely Data Integrity Suite はどのように役立つか

データ統合: Precisely Data Integrity Suite のインテグレーションサービスは、各担当部署自身が最新で欠損のないデータを生成できるよう、必要なデータを利用できるようにするのに役立ちます。



データ可視性: Data Integrity Suite のデータ オブザーバビリティサービスを使用すると、データ全体に影響を与える可能性のあるデータの異常や変更をプロファイル化して監視し、担当する部署と関係者にアラートを送信することができます。

データカタログ: Precisely Data Integrity Suite のユーザーフレンドリーなデータカタログでは、自然言語による検索機能と、利用可能なデータをすばやく識別するための重要なメタデータが記載された独自のカタログカードビューにより、データを適切に発見できます。



データ ガバナンス: Precisely Data Integrity Suite のデータ ガバナンスサービスを使用すると、プライバシー、セキュリティ、データポリシーに関する部門レベルのコンプライアンスを確保し、リスクを軽減することができます。

データの意味、所有権、責任、品質、ルールと評価指標、およびデータのビジネスへの影響に関する統一された見解を共有することで、全体的なデータリテラシーを向上させることができます。



住所データの完全性に関するデータ製品の要求: データメッシュプラットフォーム内で Precisely Data Integrity Suite のデータ クオリティ、ジオアドレッシング、データ エンリッチメント、空間分析といったサービスを活用し、データの固有の要求に対応できます。

Data Integrity Suite

